

北海道身体障害者新聞

発行人 一般社団法人
北海道身体障害者福祉協会
会長 藤田 孝太郎
札幌市中央区北2条西7丁目(かでる2-7)
電話 011-251-1551
FAX 011-251-0858
北海道障害者社会参加推進センター
電話 011-251-9302
隔月 25日発行
会員購読料(年) 90円
(会費を含む)
非会員 同 2,000円

令和4年度盲ろう者 通訳・介助員現任研修

札幌盲ろう者福祉協会の皆さまの全面的ご協力のもと、9月10日(かでる2-7)にて開催しました。前年度までに養成講座を受講修了した方が対象で、定員以上の多数の申し込みがありました。同じ目的を持つ仲間として、年々受講生同士の結びつきも強くなり、開講前から再会を喜ぶ場面も見られました。

1日目の午前は、実際に派遣依頼があったことを想定して、仮の事例について疑問点や問題点について考えました。午後には、移動介助演習ということで、階段やスロープ、エスカレーターやエレベーターを使って、移動介助方法を学びました。

階段での介助



エスカレーターでの介助

エレベーターでの介助



スロープでの介助

2日目の午前は、状況説明についての演習を行い、11時頃からグループに分かれて屋外研修という形で、盲ろう講師と一緒に食事や買い物や見学等に出かけ、夕方かであるに限り、各グループごとにとめや発表をし、振り返りや反省をしました。

研修内容はグループによって様々でしたが、講師の方々によって学んだことを生かす場面を数多く設定していただいたおかげで、受講生はたくさんのお話を学ぶことができました。出発前には不安でいっぱいだった表情も、夕方に屋外研修を終えて戻ってきた受講生の顔には達成感と充実感と、ホッとした笑顔も見られました。



真剣なまなざしで、全集中でした。

令和4年度 障がい者パソコン教室

身体障害者手帳の交付を受けている方を対象としたパソコン教室を開催しています。今年度は、岩見沢市・石狩市・滝川市・砂川市・美幌市・帯広市・登別市・紋別市の8ヶ所を予定しております。各開催地によって、内容等は様々ですが、参加者の方々に大変好評です。

初心者の方も大歓迎です。



パソコン教室(帯広市)

9月5日6日、帯広市グリーンプラザにて、斎藤雅博氏を講師に迎え開催しました。昨年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により緊急事態宣言が発令され開催中止となったため、2年ぶりのパソコン教室でした。



わからないところを教えてもらいました。

参加者は2名と少なめでしたが、各自習いたい内容等を事前にまとめておいたりデータを持参するなどして操作方法を学び、習得した技術をいかして「オリジナルうちわ作り」もしました。

思い思いの画像やイラストで。



パソコン教室(美幌市)

9月27日28日、美幌市総合福祉センター「ぼくら」にて、澁谷茂氏を講師に迎え開催しました。当初の計画では8月を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により延期開催となりましたが、7名の参加者がありました。



みなさん、熱心に学びます。

1日目は、イラストや写真を使ってデザイン画を作成し、トートバッグにプリントしました。2日目は、イラストや図形を使って十五夜にちなんだ壁画を作り、額に入れました。学ぶだけでなく、作品づくりができたことで、より楽しい時間となったようです。

受講生同士だけでなく、講師やお手伝いの方々との交流もでき、貴重なひとときとなりました。

パソコン教室(登別市)

10月25日26日、登別市総合福祉センターにて、榎本吉幸氏・工藤恵美子氏・柴田光輝氏を講師に迎え開催しました。今年度は、「世界に一つだけのオリジナルトートバッグ作り」と「年賀状作成」をしました。



初心者には懇切丁寧な指導を受けました。

トートバッグの片面には、全道大会開催時に参加する時に使用するよう、全員同じかわいいクジラのイラストをプリントし、もう片面には受講者がインターネットを使って選んだイラストをプリントしました。

その後、時季的なこともあり、年賀状の作成をしたのですが、まったくパソコンに触れたことがない受講者には、講師のマンツーマン指導により、来年の干支であるうさぎを使った年賀状を完成させることができました。

全員でクジラをプリント！



全道大会開催時には、おそろいのトートバッグを持って行くのを楽しみにしております。ぜひ、みなさんに見てもらいたいと思っております。

一般社団法人日本義肢協会会員

- 株式会社 札幌義肢製作所
代表取締役 関 喬
札幌市中央区北五条西十一丁目六
電話代表(〇一)二四一〇九九六番
- 有限会社 野坂義肢製作所
札幌市中央区南三条東四丁目
電話(〇一)二二二一四〇六番
- 株式会社 馬場義肢製作所
函館市豊川町一五〇一七 〇三三二一六一五番
札幌市北区大平七条二丁目 〇一七四一〇三三番
室蘭市港恋北町一三〇六 〇四三三三九五九番
網走市富士見一五〇九 〇一五四四一三四六番
- 株式会社 田村義肢製作所
札幌市中央区北四条東五丁目
電話(〇一)二二二〇二七七番
帯広支店 帯広市大通南十五丁目二十番地
電話(〇一)五五二二七四九番

文芸

俳句

- 室蘭市 池内 満里子
夕桜惜しまれて散る命かな
こらへても夫の旅立ち亀の鳴く
骨箱を抱き落花の中にある
七・七日納骨堂え牡丹散る
サビタ咲く一人で帰る高速路
夫逝けど狭庭の草木命萌ゆ
新盆やアルバム語る一生涯
初盆に我に残る世置いて逝き
障害を支へし夫の走馬燈

川柳

- 月形町 富田 みよ子
秋の味頂きました栗こほん
雨上がりゆらゆら歩く車いす
散歩中愛しい花に立ちどまり
三年目窓越しに見るマスク顔
友人があら久しぶり又来ます



「お楽しみ会」

帯広身体障害者福祉協会

令和4年7月30日(土)午前10時から帯広市グリーンプラザで開催されました。コロナ禍で会員相互の親睦交流する機会が少なくなりましたこと、三役及び事務局で企画しました。当日は24名の会員が参加し、田中会長のあいさつに続き、早速、お楽しみ会に入りました。最初は「帯広ひよっとこの会」による「ズンドコ節」及び「ソールン節」で会を盛り上げました。



「帯広ひよっとこの会」のみなさん

続いて、「カラオケ会」となり、カラオケは会員の協力で、すべて自前でやりました。(感謝です。)10人の会員が熱演し、日頃、鍛えた喉声が披露されました。最後に「輪投げ」を行いました。的棒9本に9本の投げ輪を投じるゲームで、参加者全員が参加しました。ゲームは一投ごとに行い、うまくいければ、大きな拍手と歓声、はずれば、ため息との繰り返しでした。予定していた催し物の2時間もあつという間に過ぎ、楽しいひとときを過ごしました。

「輪投げ」…うまく的に入るかな?



釧路地区身体障害者福祉協会白糠分会

「創立70周年記念事業」

令和4年5月28日(土)、白糠町では、分会創立70周年記念式典が開催されました。石田会長から式辞が読み上げられた後、分会の活動に功績があった12名に対し、表彰状や感謝状が贈呈され、その後、白糠町長ほか3名の来賓の方から祝辞をいただきました。

白糠分会では、創立70周年の記念事業としてアルミ缶回収事業により集めたリングプルを車椅子交換に役立ててもらいたいと町社会福祉協議会に寄贈する活動をしています。コロナ禍でも会長を始め、会員の皆さんが元気に活動している白糠分会をご紹介します。

石田正義会長のあいさつ



市・地区・町村協会からの記事を募集しています

各地域の福祉活動・スポーツ活動・研修会・講習会のようすや独自の取り組み等、ぜひ、北身協までお知らせください。

「北海道身体障害者新聞」に掲載させていただきます。ご投稿を心よりお待ちしております。写真も添付していただくと大変助かります。よろしくお願いたします。

道新コスモス奨学金

「奨学生からの感謝のお便り」 昨年度の奨学生からお便りが届きましたのでご紹介します。 ※学年・お名前等は非公開とさせていただきます。

北海道今金高等養護学校

「支えてくださった皆さまへ」 私が今金高等養護学校に入學して、3年が経ちました。3年生は、就労決定に向けた現場実習をさせていたいただき、実習では、薬品を使った床の油污れを取ったり、清掃道具を使ってラベルがしをしたりと様々な清掃をしました。初めは道具を上手に使うことが難しかったのですが、だんだんとできるようになりました。また、事業所の方々に、報連相や小さい頃の話など、コミュニケーションをとることもできました。12月の学校祭の販売会では、お客様に商品のことを聞かれて、説明をしました。声をあまり出せずに、小さい声になってしまいました。2月の販売会では、大きな声で受け答えができるようになり、また、販売開始の挨拶も大きな声でハキハキと校内放送で伝えることもできました。

北海道旭川高等支援学校①

「高校生活で頑張ったこと」 旭川高等支援学校での生活も9ヶ月が経過しました。中学校までの学校生活とは環境が大きく変化しましたが、高校生活を頑張ってきたこと、

高校生活で特に頑張ったことは、現場実習です。10月18日から10月22日の5日間行ってきました。私が行った現場実習先は主にスーツの販売をしている企業でした。私は、更衣室や売り場の掃除や消毒、値札の入れ替えなどたくさんのお仕事を体験しました。私は現場実習に向けて「仕事の指示を聞く」という目標を立てました。意識して実習をすることができました。課題はタイミングよく大きな声でいらつしゃいませということでした。今後の学校の作業学習でも意識して取り組みたいです。残りの高校生活も一生懸命頑張ります。

北海道旭川高等支援学校②

「現場実習を終えて」 私は、10月18日から2週間現場実習に行きました。実習先が衣類を販売する所だったので、衣類を畳んだり、お客様への接客を行ったりしました。仕事内容で難しかったのは、商品の名前を覚えることでした。接客をして服を買ってもらったときは、とてもうれしかったです。 今回の実習を通して、一般就労を目指したいという気持ちが強くなりました。一般就労に向けて、作業学習を中心に、国語や数学などの教科学習もがんばっていきたいと思います。また、あいさつは、日ごろから気をつけて自分から言えるようにしていきたいです。 これらの経験を生かして、3年生の実習もがんばります。

ジパング倶楽部 特別会員のご案内

JRジパング倶楽部では、身体障害者手帳では割引とならない特急券などが割引となる特別会員制度を設けております。

- 対象 身体障害者手帳をお持ちで、男性60歳・女性55歳以上の方
年会費 1人1,400円
利用条件 片道・往復・連続で201km以上利用する場合(20回まで)
割引率 【新規会員】 初回3回まで2割引 4回〜20回まで3割引
【更新会員】 初回から3割引

- ▼割引対象外期間 ① 4月27日〜5月6日 ② 8月10日〜8月19日 ③ 12月28日〜1月6日
※ご利用にならない列車や割引対象外期間については、駅の窓口でご確認ください。
※ジパング手帳の到着は、お申し込みから約3週間程度の時間が必要となりますので、あらかじめご了承ください。
更新手続きは、期限が切れる1ヶ月前から可能です。期限を過ぎると新規扱いになりますので、早めに手続きをして下さい。
(更新日のお知らせはお送りしていませんのでご注意ください。)
お電話の際は、お手元にジパング手帳と障害者手帳をご用意下さい。

【申し込み・問い合わせ先】 地区の身体障害者福祉協会か、左記へ 〒060-10002 札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル4階 一般社団法人 北海道身体障害者福祉協会 電話 011(251)1551 FAX 011(251)0858



岩崎電子 補聴器センター
-安心と実績で全道をネットする 認定補聴器専門店-
本店 札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド
札幌駅前店 札幌市中央区北3条西2丁目 札幌H・S・ビル1F
新札幌店 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 ホクノービル3F
手稲店 札幌市手稲区前田1条12丁目
元町店 札幌市東区北22条東16丁目1-10 スーパー元町1F
旭川店 旭川市宮下通9丁目 キタノビル1F
函館店 函館市杉並町8-20 オカダビル
苫小牧店 苫小牧市表町5丁目5-1
室蘭店 室蘭市中央町3丁目25-1 TMビル
お問い合わせ フリーダイヤル 0120-231-282
本社 岩崎電子株式会社
札幌市中央区南2条西3丁目南東カド

有限会社 岩見沢義肢
岩見沢市緑が丘四丁目三二二-114四六
電話代表(0)二二六二二二-115五〇番

合道北義肢製作所
所 長 舛田裕司
旭川市五条通十二丁目六一七番地
電話(0)一六六二四一五三三番

NPO法人 砂川つばさ
バッグの製作・修理等・革製品で
お困りの方はご相談ください
TUBASA
砂川市東五条南四丁目二一十二
F電話(0)一一二五五二八三五
FAX(0)一一二五五二八三五

HOP ホップ障害者地域生活支援センター
札幌市東区北十四条東十四丁目二五光星ビル
TEL(0)一一七四八八六二二〇
FAX(0)一一七四八八六二二二

◆障害者支援施設
◆障害福祉サービス事業所
◆特別養護老人ホーム
◆障害児通所支援事業
◆救護施設 他
施設利用、見学等をご希望の方は
お気軽にご連絡下さい
社会福祉法人 北海道光生舎
☎079-1135
赤平市錦町2丁目6番地
TEL 0125-32-3221

社会福祉法人 北海道宏栄社
〒047-0011 小樽市天神2丁目8番2号
電話 011-341-2511
FAX 011-341-2511

会員募集中!!
北身協では札幌と旭川を除く全市町村で身体障害者活動にご理解いただける会員を募集しております。詳しくは市町村役場障がい担当窓口まで!!